

# 娘の関節部症状と母の眼瞼腫脹がそれぞれ軽減した母娘アトピーの経過 (48歳・8歳 母娘)

症例 ID：001-40-TM4 | 記録日：2016年8月30日

## 1. 診断・治療前経過

娘は5歳頃、水いぼをきっかけに肘・膝内側の赤みとかゆみが出て、約7か月間、ステロイド外用薬と内服薬を使用しました。中止直後に肘、膝、手首の症状が拡大しました。

母は2015年3月頃から両眼瞼が腫れ、次第に強くなったため、娘に続いて松本医院を受診されました。

## 2. ステロイド使用歴

| 項目    | 内容                                                     |
|-------|--------------------------------------------------------|
| 使用内容  | 娘はステロイド外用薬とオキサトーフ DS を約7か月使用しました。母のステロイド使用歴はほとんどありません。 |
| 製品名   | 娘：製品名不明のステロイド外用薬、オキサトーフ DS。母：不明です。                     |
| 強度    | 不明です。                                                  |
| 使用期間  | 娘は約7か月です。母は使用歴が少なく、詳細は不明です。                            |
| 中止時期  | 松本医院での治療開始時期です。                                        |
| 来院前／後 | 来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。                             |

## 3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

| 時期         | 治療開始から  | 経過                             |
|------------|---------|--------------------------------|
| 娘・5～6歳     | 発症・他院治療 | 肘・膝内側と手首の赤み、かゆみに外用・内服治療を受けました。 |
| 2014年8月24日 | 娘の治療開始  | 漢方入浴、煎じ薬、外用処置を開始しました。          |
| 開始～3か月     | 娘のピーク   | 関節部の赤みとかゆみ、夜間の掻破が続きました。        |
| 開始3～4か月    | 娘の改善    | 夜間の掻破が減り、皮膚症状が半分程度まで軽減しました。    |
| 2016年3～4月  | 娘の治療終了  | 最後の煎じ薬処方後、治療を終了しました。           |
| 2015年4月4日  | 母の治療開始  | 両眼瞼の腫脹に対する治療を開始しました。           |
| 治療約1年      | 母の改善    | 二重眼瞼が戻り、腫れは額の発赤と小さな発疹へ変化しました。  |
| 2016年8月    | 母の経過後   | 額の症状も軽減し、皮膚症状はほとんどみられなくなりました。  |

## 4. ピーク時期

娘のピークはステロイド中止後に肘・膝・手首の赤みとかゆみが拡大した時期、母のピークは両眼瞼が強く腫れ、コンタクトレンズを使用できなかった時期です。

## 5. 困りごと

- 娘は煎じ薬を飲むことが難しく、ゼリー状にするなどの工夫が必要でした。
- 母は眼瞼腫脹のため人に会うことを避ける時期がありました。

## 6. 経過のまとめ

娘は治療開始3～4か月後から夜間の掻破が減り、2016年春に治療を終了しました。

母は約1年で二重眼瞼が戻り、2016年8月にはアトピー症状がほとんどみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。  
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。